

養護教諭部会 理論研修会 終了報告

テーマ	「発達障がいのある子どもの支援～保健室の望ましい対応～」	
日時	平成30年10月12日(金) 13:30～15:30	
会場	江別市立上江別小学校	
講師	札幌学院大学 人文学部 人間科学科 教授 二通 諭 氏	
参加者	96名	
研修会 の 様子		<p>保健室だけではなく、学校という場所で、発達障がいの子どもの「出力できる場所があるか？」との問いに始まり、特別支援教育の観点では「否定語」を使わない(わがまま→我慢が苦手と置き換える)、すべて肯定から入る、本人の工夫と努力を一緒に考えていく、などが話されました。</p>
		<p>支援の原理として、「良き記憶を作る(＝スペシャルタイム)」という方略が必要ということも学びました。</p> <p>アンケートからは、「実行できる言葉かけ・対応を学ぶことができた。」「全校で取り組まなければならない切実感を感じた。十人十色の子どもへの具体的な提案を受けられてラッキーだった。」「言葉かけの例を話してくれたのが、とても参考になった。」などの意見をいただきました。</p>
		<p>保健室での関わり方についても、質問が多数あがりました。また、保健室から感じ取ることのできる、学校体制の在り方に関して助言を求める声もあがりました。どの学校も、どの保健室も、子どもの成長にとって「何がいいのか？できるのか？」を、手探りで模索している様子が伺えました。</p>